

みずほCustomer Desk Report 2019/07/30 号(As of 2019/07/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.64	1.1130	120.91	1.2377	0.6906
SYD-NY High	108.90	1.1151	121.30	1.2385	0.6916
SYD-NY Low	108.42	1.1114	120.74	1.2213	0.6895
NY 5:00 PM	108.78	1.1145	121.24	1.2218	0.6902
NY DOW	27,221.35	28.90	日本2年債	-0.2100	1.00bp
NASDAQ	8,293.33	▲ 36.88	日本10年債	-0.1500	0.00bp
S&P	3,020.97	▲ 4.89	米国2年債	1.8549	▲ 0.20bp
日経平均	21,616.80	▲ 41.35	米国5年債	1.8428	▲ 0.99bp
TOPIX	1,568.57	▲ 2.95	米国10年債	2.0624	▲ 1.06bp
シカゴ日経先物	21,625	▲ 30	独10年債	-0.3920	▲ 1.35bp
ロンドンFT	7,686.61	137.55	英10年債	0.6535	▲ 3.20bp
DAX	12,417.47	▲ 2.43	豪10年債	1.2050	▲ 2.45bp
ハンセン指数	28,106.41	▲ 291.33	USDJPY 1M Vol	5.43	0.13%
上海総合	2,941.01	▲ 3.53	USDJPY 3M Vol	5.85	0.13%
NY金	1,420.40	1.10	USDJPY 6M Vol	6.15	0.05%
WTI	56.87	0.67	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	177.80	0.64	EURJPY 3M Vol	6.38	0.25%
ドルインデックス	98.04	0.03	EURJPY 6M Vol	6.75	0.19%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月29日	8:50	日 小売売上高(前月比/前年比)	6月 0%/0.5%	-0.3%/0.2%
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	7月 -6.3	-6.0

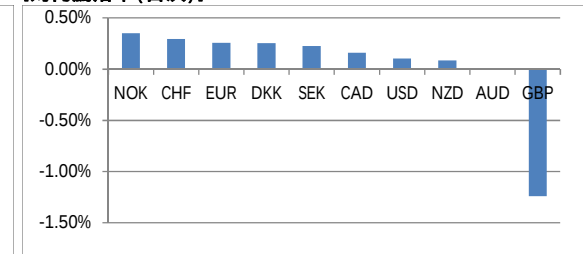
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月30日	8:30	日 失業率	6月 2.4%	2.4%
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.1%	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	- -	-
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.3%/1.5%	0.3%/1.6%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	6月 0.4%/0.3%	0.5%/0.4%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.7%	0.2%/1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.40-109.20	1.1100-1.1200	120.60-121.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は小幅上昇。序盤は公示仲値にかけて108.40台まで下落した。海外時間に渡って、ジョンソン英首相がEUとの新たな合意案が必要との認識を示す等、10月末の「合意なき離脱」への警戒感が高まりボンドが全面安の展開、ドル買いが進行してドル円は一時108.90まで上昇した。

本日のドル円はFOMCを目前に控え様子見ムードが強まるか。日銀金融政策決定会合や米6月個人所得、米6月消費者信頼感指数の発表が予定されており、結果には注視していきたい。

東京	東京時間のドル円は108.64レベルでオープン。日経平均株価が寄り付き後軟調に推移すると、ドル円は108.42まで下落。その後日経平均株価が下げ渋る中、ドル円も値を戻し、結局108.66レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.66レベルでオープン。特段目新しい材料のない中、108.60から108.67の小幅なレンジで推移。108.64レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2370レベルでオープン。週末28日、ジョンソン英首相は、10月31日までのEU離脱実現に向けて、6人の主要閣僚で構成する「戦時内閣」チームを設置。コープ国務相は、「合意なき離脱は今や極めて現実的な可能性だ」と発言。合意なき離脱への準備の加速が意識される中、警戒感からボンドは1.2301まで下落。1.2302レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	海外時間に本邦政府系ファンドが為替のヘッジ取引を始めたとの報道が意識され、水曜のFOMCを控え戻り売りに108.42まで下落する局面もあったものの、その後は下げ渋り108.64レベルでNYオープン。当日は主要な米経済指標の発表が予定されておらず、今週は日銀、FOMC、英中銀と多くの金融政策が発表されることに加え、翌日からの米中通商協議再開や、週末の米雇用統計結果発表を控え、朝方はトランプ大統領のFedに対して大幅利下げ圧力を掛けるような発言が伝わるものの、ドル円は狭いレンジでの推移が続く。しかしロンドンフィックスに近づく、特段のニュースは見当たらないものの、ドル円の買いが持ち込まれているとの話や、ハードブレグジット懸念からユーロボンドが上昇する動きにユーロ円も上昇したことから、ドル円も連れ高となり108.90まで戻す。午後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、108.78レベルでクロスした。一方、利下げ期待から軟調なユーロドルは、海外市場で1.1114まで下落し、1.1120レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、徐々にユーロボンドの買いが強まったことから1.1143まで戻す。午後ユーロボンドが2017年の9月以来のレベルで高止まりする中、ユーロドルもじり高で推移し1.1151まで戻し、1.1145レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井